

東京医療学院大学 履修に関する規程

（目的）

第1条 この規定は、東京医療学院大学学則第10条第3項に基づき、授業科目の履修について必要な事項を定めることを目的とする。

（授業時間割）

第2条 授業時間割は、年度又は学期の始めに明示する。

（履修登録）

第3条 学生は、年度又は学期の始めに、所定の様式によって履修しようとする科目を登録しなければならない。

2 履修登録の手続がなされないときは、科目の履修及び単位の修得はできない。

（履修方法）

第4条 履修方法の細部については、年度の始めに指導を行うものとする。学生は、指導に従って科目を履修しなければならない。

2 必修科目及び履修指導によって指示された科目は、当該年度において優先的に履修するものとする。

3 選択科目は、明示された時間割に示された当該年度において選択履修することを原則とする。

4 同一科目であっても、履修する学生数によって受講する組を編成することがある。指示された組で履修するものとし、他の組での受講はできない。

5 1年間の履修登録上限単位数を、リハビリテーション学科理学療法学専攻は42単位、同作業療法学専攻は44単位、看護学科は43単位とする。ただし看護学科の助産師課程選択者は47単位とする。

（受講制限）

第5条 科目のうち、教室の都合によって受講人数の制限を行うことがある。

2 科目によっては、あらかじめ修得を必要とする科目を指定することがある。

（他学科（専攻）の履修）

第6条 学生の所属する学科（専攻）にない他学科（専攻）の科目も履修することができる。ただし、この場合卒業に必要な単位として認定されるものは10単位までとする。

2 他学科（専攻）における科目の履修にあたっては、当該科目担当教員の承認を得なければならない。

（履修の禁止）

第7条 次の場合には、履修登録することができない。

(1) 同一時限に2科目以上を履修すること

(2) すでに、単位を修得した科目と同一の科目を、再び履修すること

(3) 他の配当学年の科目を履修するに当たって、所属する学科長及び当該科目担当教員の承認が得られないとき

（試験）

第8条 試験は、第3条第1項の規定によって登録した科目について、年度末又は学期末に行う。ただし、科目によっては当該担当教員が必要と認める適宜の時期に行うことがある。

2 試験は、筆記試験、実技試験、口述試験、論文、報告書又はこれらの併用によって行う。ただし、科目によっては、平常の成績考査をもって試験に代えることがある。

3 試験の日程、時間及び場所は、その都度明示する。

(受験制限)

第9条 次の者には、受験を認めない。

- (1) 学費等の未納者
- (2) 履修登録をしていない科目を受験しようとする者
- (3) 特別の理由なしに、科目への出席時間数がその総授業時間数の3分の2に満たない者

(試験不正行為への対処)

第10条 不正行為をしたと認められた者は学則第43条第3項第4号により懲戒し、学内に告示するとともに当該学期のすべての科目を無効とする。

(追試験，再試験，補習実習，再実習)

第11条 定期試験を欠席した者は、試験欠席の事由を証明する書類及び追再試験受験願を明示日までに提出しなければならない。

- 2 定期試験を欠席した者に対し、欠席がやむを得ない事情であると認められた者に限り追試験を行う。
- 3 単位修得に必要な成績を得ていない履修者を対象として科目担当教員が再試験を行うことがある。ただし、履修者の授業出席状況、成績の程度などにより再試験対象者を制限することがある。
- 4 再試験の受験者は、所定の受験料を添えて追再試験受験願を明示日までに提出して受験許可を得なければならない。
- 5 看護学科において、届出欠席（欠席がやむを得ない事情であると認められた場合）により規定の実習時間が不足した場合に補習実習を認める。
届出欠席以外で規定の実習時間が不足した場合、あるいは、単位修得に必要な成績を得ていない場合に再実習を認める。
- 6 看護学科において、再実習を受ける者は、所定の費用を添えて再実習願を明示日までに提出して再実習の許可を得なければならない。

(進級要件)

第11条-2 進級するために必要な要件を設けることができる。

- 2 前項の要件に関し、必要な事項は別に定める。

(臨床・臨地実習着手要件)

第12条 リハビリテーション学科は、評価実習、地域実習および総合臨床実習に着手するためには、規定の必修科目（別表）を全て修得していなければならない。ただし、この規定の必修科目のうち、D評価（不合格）の合計が3単位以下の者に限り、別に定める特別履修を受けることができる。

- 2 看護学科は、臨地実習に着手するためには、規定の必修科目（別表）の単位を修得していなければならない。

(卒業研究着手要件)

第13条 卒業研究に着手するためには、卒業研究を履修するまでに必修科目と選択科目とを合計して95単位以上を修得していなければならない。

- 2 卒業研究に着手しようとする者は、卒業研究題目、計画等を所属専攻長及び指導教員に提出し承認を得なければならない。

(卒業要件の単位数)

第14条 卒業に必要な単位数は、次のとおりとする。

平成 28 年度入学生まで
リハビリテーション学科
(理学療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	26 単位	16 単位	10 単位
専門基礎科目	34 単位	31 単位	3 単位
専門科目	62 単位	62 単位	0 単位
合計	126 単位	113 単位	13 単位

(作業療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	23 単位	15 単位	8 単位
専門基礎科目	34 単位	31 単位	3 単位
専門科目	65 単位	65 単位	0 単位
合計	126 単位	115 単位	11 単位

看護学科

科目	合計	必修	選択
教養分野	29 単位	16 単位	13 単位
専門基礎分野	99 単位	21 単位	8 単位
専門分野		70 単位	
合計	128 単位	107 単位	21 単位

(助産師課程選択者)

科目	合計	必修	選択
教養分野	29 単位	16 単位	13 単位
専門基礎分野	21 単位	21 単位	—
専門分野	100 単位	100 単位	—
合計	150 単位	137 単位	13 単位

平成 29 年度入学生から平成 31 年度入学生まで
リハビリテーション学科
(理学療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	25 単位	15 単位	10 単位
専門基礎科目	35 単位	32 単位	3 単位
専門科目	62 単位	62 単位	0 単位
合計	126 単位	113 単位	13 単位

(作業療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	22 単位	14 単位	8 単位
専門基礎科目	35 単位	32 単位	3 単位
専門科目	65 単位	65 単位	0 単位
合計	126 単位	115 単位	11 単位

看護学科

科目	合計	必修	選択
教養分野	29 単位	16 単位	13 単位
専門基礎分野	99 単位	21 単位	8 単位
専門分野		70 単位	
合計	128 単位	107 単位	21 単位

(助産師課程選択者)

科目	合計	必修	選択
教養分野	29 単位	16 単位	13 単位
専門基礎分野	21 単位	21 単位	—
専門分野	100 単位	100 単位	—
合計	150 単位	137 単位	13 単位

令和 2 年度入学生から令和 3 年度入学生まで

リハビリテーション学科

(理学療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	20 単位	15 単位	5 単位
専門基礎科目	36 単位	34 単位	2 単位
専門科目	66 単位	66 単位	0 単位
合計	126 単位	119 単位	7 単位

(作業療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	17 単位	14 単位	3 単位
専門基礎科目	38 単位	36 単位	2 単位
専門科目	67 単位	67 単位	0 単位
合計	126 単位	121 単位	5 単位

看護学科

科目	合計	必修	選択
教養分野	29 単位	16 単位	13 単位
専門基礎分野	99 単位	21 単位	8 単位
専門分野		70 単位	
合計	128 単位	107 単位	21 単位

(助産師課程選択者)

科目	合計	必修	選択
教養分野	29 単位	16 単位	13 単位
専門基礎分野	21 単位	21 単位	—
専門分野	100 単位	100 単位	—
合計	150 単位	137 単位	13 単位

令和 4 年度入学生から

リハビリテーション学科

(理学療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	20 単位	15 単位	5 単位
専門基礎科目	36 単位	34 単位	2 単位
専門科目	66 単位	66 単位	0 単位
合計	126 単位	119 単位	7 単位

(作業療法学専攻)

科目	合計	必修	選択
特色科目	4 単位	4 単位	0 単位
教養科目	17 単位	14 単位	3 単位
専門基礎科目	38 単位	36 単位	2 単位
専門科目	67 単位	67 単位	0 単位
合計	126 単位	121 単位	5 単位

看護学科

科目	合計	必修	選択
教養分野	17 単位	12 単位	5 単位
専門基礎分野	107 単位	29 単位	2 単位
専門分野		76 単位	
合計	124 単位	117 単位	7 単位

(助産師課程選択者)

科目	合計	必修	選択
教養分野	17 単位	12 単位	5 単位
専門基礎分野	29 単位	29 単位	—
専門分野	103 単位	103 単位	—
合計	149 単位	144 単位	5 単位

(改廃)

第 15 条 この規程の改廃は、学長の決裁を必要とする。

附 則

この規則は、平成 24 年 4 月 2 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する

ただし第 12 条の改正事項については平成 30 年度入学生から適用する。

附 則

この規程は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する

附 則

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規程は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

ただし第 11 条-2 の追加事項及び第 12 条の改正事項については令和 4 年度入学生から適用する。

附 則

1 この規程は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

2 令和 4 年度看護学科の入学生に対し、別表「基礎看護学実習Ⅱ」の着手要件は適用しない。
ただし令和 5 年度のための措置とする。

平成 28 年度入学生まで

【理学療法学専攻】

別表

評価実習				総合臨床実習
生命倫理	運動学実習	理学療法学概論Ⅰ (理学療法導入論)	日常生活活動学 (理学療法)	理学療法技術論C (小児中枢神経系)
人間発達学	病理学概論	理学療法評価学A (四肢周径・バイタルサイン等評価)	日常生活活動学演習 (理学療法)	理学療法技術論D (神経筋疾患)
コミュニケーション論	内科学	理学療法評価学A 演習 (四肢周径・バイタルサイン等評価)	物理療法学	理学療法技術論E (循環器・代謝系)
医療安全管理	整形外科学	理学療法評価学B (関節可動域・筋力等評価)	物理療法学演習	理学療法技術論F (呼吸器系)
解剖学 (人体の構造)	神経内科学	理学療法評価学B 演習 (関節可動域・筋力等評価)	義肢学 (理学療法)	運動療法D (外傷性疾患運動療法)
解剖学A演習 (運動器・神経系)	精神医学	理学療法評価学C (障害別評価)	臨床見身体験実習 (理学療法)	運動療法E (中枢神経系運動療法)
解剖学B演習 (内臓・脈管系)	小児科学	理学療法評価学C 演習 (障害別評価)		装具学 (理学療法)
生理学	脳神経外科学	理学療法技術論A (成人中枢神経系疾患)		地域リハビリテーション学
生理学演習	医用画像解析学概論	理学療法技術論B (運動器系)		地域理学療法学
生理学実習	リハビリテーション概論	運動療法A (基礎運動療法)		評価実習 (理学療法)
運動学	リハビリテーション医学	運動療法B (病態運動療法)		
運動学演習	リハビリテーション チームワーク概論	運動療法C (運動器系運動療法)		

平成 29 年度～平成 31 年度入学生

【理学療法学専攻】

評価実習				総合臨床実習
生命倫理	運動学演習	リハビリテーション チームワーク概論	運動療法学 (運動器系)	理学療法技術論C (小児中枢神経系)
人間発達学	運動学実習	理学療法学概論1 (理学療法導入論)	日常生活活動学 (理学療法)	理学療法技術論D (神経筋疾患)
コミュニケーション論	内科学	理学療法評価学A (四肢周径・バイタルサイン等評価)	日常生活活動学演習 (理学療法)	理学療法技術論E (循環器・代謝系)
医療安全管理	病理学概論	理学療法評価学A 演習 (四肢周径・バイタルサイン等評価)	物理療法学	理学療法技術論F (呼吸器系)
解剖学 (人体の構造)	整形外科科学	理学療法評価学B (関節可動域・筋力等評価)	物理療法学演習	運動療法学 (外傷性疾患)
解剖学A演習 (骨学・筋学・神経系)	神経内科学	理学療法評価学B 演習 (関節可動域・筋力等評価)	装具学 (理学療法)	運動療法 (中枢神経系)
解剖学B演習 (内臓・脈管系)	精神医学	理学療法評価学C (障害別評価)	臨床見学体験実習 (理学療法)	義肢学 (理学療法)
生理学 (細胞生理学、循環・呼吸系)	小児科学	理学療法評価学C 演習 (障害別評価)		地域リハビリテーション学
生理学A演習 (神経系・運動機能)	脳神経外科学	理学療法技術論A (成人中枢神経系疾患)		地域理学療法学
生理学B演習 (運動の中枢性制御、 消化・吸収・排泄系)	医用画像解析学 概論	理学療法技術論B (運動器系)		評価実習 (理学療法)
生理学実習	リハビリテーション 概論	運動療法学 (基礎)		
運動学	リハビリテーション 医学	運動療法学 (病態)		

【作業療法学専攻】

評価実習					
共通				身体障害領域 評価実習	精神障害領域 評価実習
大学導入論	公衆衛生学	運動学実習	リハビリテーション チームワーク概論	作業療法評価学A (身体)	精神医学
ボランティア入門	医療安全管理	臨床心理学	作業療法学概論	作業療法評価学A演習 (身体)	作業療法評価学B (精神)
生命倫理	解剖学 (人体の構造)	病理学概論	基礎作業学概論	作業療法評価学C (発達)	作業療法評価学B演習 (精神)
学びの技法	解剖学A演習 (骨学・筋学・神経系)	内科学	基礎作業学演習A (作業別技法)	作業療法評価学C演習 (発達)	精神障害作業療法治療学1 (精神機能回復理論)
心理学概論	解剖学B演習 (内臓学・心脈管系)	整形外科学	基礎作業学演習B (作業分析等)	身体障害作業療法治療学1 (身体機能回復理論)	
人間発達学	生理学 (細胞生理学、 循環・呼吸系)	神経内科学	作業療法学研究法	発達期障害作業療法 治療学	
情報処理 (応用)	生理学A演習 (神経系・運動機能)	小児科学	日常生活活動学 (作業療法)	老年期作業療法 治療学	
自然科学基礎	生理学B演習 (運動の中枢性制御 消化・吸収・排泄系)	脳神経外科学	地域の保健医療福祉 (作業療法)	高次脳機能障害 作業療法治療学	
コミュニケーション論	生理学実習	医用画像解析学概論	臨床見学体験実習 (作業療法)	義肢学 (作業療法)	
カウンセリング入門	運動学	リハビリテーション概論			
保健医療英語入門	運動学演習	リハビリテーション医学			
総合臨床実習					
共通			身体障害領域総合臨床実習		精神障害領域 総合臨床実習
統計学	装具学（作業療法）	地域作業療法学	身体障害作業療法治療学2 (疾患別治療学)	老年期作業療法 治療学演習	精神障害作業療法治療学2 (疾患別治療学)
作業療法管理法	職業関連作業療法学		身体障害作業療法 治療学演習	高次脳機能障害作業療法 治療学演習	精神障害作業療法 治療学演習
日常生活活動学演習 (作業療法)	地域 リハビリテーション学		発達期作業療法 治療学演習	身体障害領域評価実習 (作業療法)	精神障害領域評価実習 (作業療法)

令和 2 年度入学生より
【理学療法学専攻】

評価実習				総合臨床実習
生命倫理	運動学演習 (理学療法)	リハビリテーション概論	運動療法学 (基礎)	保健医療制度概論
人間発達学	運動学実習 (理学療法)	リハビリテーション医学	運動療法学 (病態)	理学療法評価学D (画像評価)
コミュニケーション論	内科学	多職種連携論	運動療法学 (運動器系)	理学療法技術論C (小児中枢神経系)
医療安全管理	病理学概論	理学療法学概論 1 (理学療法導入論)	日常生活活動学 (理学療法)	理学療法技術論D (神経筋疾患)
解剖学 (人体の構造)	薬理学	理学療法評価学A (四肢周径・バイタルサイン等評価)	日常生活活動学演習 (理学療法)	理学療法技術論E (循環器・代謝系)
解剖学A演習 (骨学・筋学・神経系)	整形外科学	理学療法評価学A演習 (四肢周径・バイタルサイン等評価)	物理療法学	理学療法技術論F (呼吸器系)
解剖学B演習 (内臓・脈管系)	神経内科学	理学療法評価学B (関節可動域・筋力等評価)	物理療法学演習	運動療法学 (外傷性疾患)
生理学 (細胞生理学、 循環・呼吸系)	精神医学 1	理学療法評価学B演習 (関節可動域・筋力等評価)	装具学 (理学療法)	運動療法学 (中枢神経系)
生理学A演習 (神経系・運動機能)	小児科学	理学療法評価学C (障害別評価)	臨床見学体験実習 (理学療法)	義肢学 (理学療法)
生理学B演習 (運動の中枢性制御、 消化・吸収・排泄系)	脳神経外科学	理学療法評価学C演習 (障害別評価)		地域リハビリテーション学
生理学実習	栄養学	理学療法技術論A (成人中枢神経系疾患)		地域理学療法学
運動学	医用画像解析学	理学療法技術論B (運動器系)		評価実習 (理学療法)
地域理学療法実習				
地域リハビリテーション学		地域理学療法学		

【作業療法学専攻】

評価実習（身体障害領域・精神障害領域）					
大学導入論	公衆衛生学	臨床心理学	多職種連携論	作業療法評価学 A （身体）	精神医学 1
ボランティア入門	医療安全管理	病理学概論	地域の保健医療福祉 （作業療法）	作業療法評価学 A 演習 （身体）	精神医学 2
生命倫理	解剖学 （人体の構造）	薬理学	作業療法学概論	作業療法評価学 C （発達）	作業療法評価学 B （精神）
学びの技法	解剖学 A 演習 （骨学・筋学・神経系）	内科学	基礎作業学概論	身体障害作業療法 治療学 1 （身体機能回復理論）	作業療法評価学 B 演習 （精神）
心理学概論	解剖学 B 演習 （内臓・脈管系）	整形外科学	基礎作業学演習 A （作業別技法）	発達期障害作業療法 治療学	精神障害作業療法 治療学 1 （精神機能回復理論）
人間発達学	生理学 （細胞生理学、 循環・呼吸系）	神経内科学	基礎作業学演習 B （作業分析等）	老年期 作業療法治療学	精神障害作業療法 治療学 2 （疾患別治療学）
情報処理（応用）	生理学 A 演習 （神経系・運動機能）	小児科学	作業療法学研究法	高次脳機能障害 作業療法治療学	作業療法管理学
自然科学基礎	生理学 B 演習 （運動の中枢性制御消 化・吸収・排泄系）	脳神経外科学	リハビリテーション 概論	義肢学 （作業療法）	保健医療英語入門
統計学	生理学実習	医用画像解析学	日常生活活動学 （作業療法）	職業関連作業療法学	リハビリテーション 医学
コミュニケーション論	運動学	栄養学	カウンセリング入門	運動学演習 （作業療法）	運動学実習 （作業療法）
臨床見学体験実習 （作業療法）					
地域作業療法実習					
身体障害領域 評価実習（作業療法）	精神障害領域 評価実習（作業療法）	地域 リハビリテーション学	地域作業療法学	身体障害作業療 法治療学 2 （疾患別治療学）	身体障害作業療法治療 学演習
精神障害作業療法 治療学演習	老年期作業療法 治療学演習	高次脳機能障害 作業療法治療学演習	日常生活活動学演習 （作業療法）	作業療法評価学 D（画 像評価）	装具学（作業療法）
総合臨床実習（身体障害領域・精神障害領域）					
身体障害領域評価実習 （作業療法）	精神障害領域評価実習 （作業療法）	地域作業療法実習			

平成 30 年度入学生～令和 3 年度入学生

【看護学科】

※ 領域別看護学実習に着手するためには、基礎看護学実習Ⅲ及び規定の必修科目（下表）の単位を修得していなければならない。

成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ	小児看護学実習	母性看護学実習	精神看護学実習	在宅看護学実習
成人看護学方法論Ⅰ	老年看護学援助論	小児看護学概論	母性看護学概論	精神看護学概論	在宅看護学概論
成人看護学方法論Ⅱ	老年看護学演習	小児看護学方法論Ⅰ	母性看護学方法論Ⅰ	精神看護学援助論	在宅看護学方法論
成人看護学方法論Ⅲ		小児看護学方法論Ⅱ	母性看護学方法論Ⅱ	精神看護学演習	
成人看護学方法論Ⅳ		小児看護学演習	母性看護学演習		

令和 4 年度入学生より

【看護学科】

基礎看護学実習Ⅱ				
生命科学	形態機能学Ⅰ	形態機能学Ⅱ	形態機能学Ⅲ	形態機能学Ⅳ
生化学	病理学	感染免疫学	診断・治療学総論	生涯発達論
看護学概論	看護学援助論	基礎看護学方法論Ⅰ	基礎看護学方法論Ⅱ	基礎看護学方法論Ⅲ
基礎看護学演習Ⅰ	基礎看護学演習Ⅱ	基礎看護学演習Ⅲ	地域生活看護学演習	地域・在宅看護学概論
基礎看護学実習Ⅰ				

基礎看護学実習Ⅲ				
基礎看護学方法論Ⅳ	基礎看護学演習Ⅳ	基礎看護学実習Ⅱ		

成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ				
家族と社会	臨床薬理学	診断・治療学Ⅰ	診断・治療学Ⅱ	診断・治療学Ⅲ
医療と法	生命倫理	社会保障論	臨床心理学	公衆衛生学
基礎看護学実習Ⅲ	医療安全論	看護倫理学	看護管理学	チーム医療論
公衆衛生看護学概論	成人看護学概論	成人看護学援助論Ⅰ	成人看護学援助論Ⅱ	成人看護学演習

老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ				
家族と社会	臨床薬理学	診断・治療学Ⅰ	診断・治療学Ⅱ	診断・治療学Ⅲ
医療と法	生命倫理	社会保障論	臨床心理学	公衆衛生学
基礎看護学実習Ⅲ	医療安全論	看護倫理学	看護管理学	チーム医療論
公衆衛生看護学概論	老年看護学概論	老年看護学援助論	老年看護学演習	

小児看護学実習				
家族と社会	臨床薬理学	診断・治療学Ⅰ	診断・治療学Ⅱ	診断・治療学Ⅲ
医療と法	生命倫理	社会保障論	臨床心理学	公衆衛生学
基礎看護学実習Ⅲ	医療安全論	看護倫理学	看護管理学	チーム医療論
公衆衛生看護学概論	小児看護学概論	小児看護学援助論	小児看護学演習	

母性看護学実習				
家族と社会	臨床薬理学	診断・治療学Ⅰ	診断・治療学Ⅱ	診断・治療学Ⅲ
医療と法	生命倫理	社会保障論	臨床心理学	公衆衛生学
基礎看護学実習Ⅲ	医療安全論	看護倫理学	看護管理学	チーム医療論
公衆衛生看護学概論	母性看護学概論	母性看護学援助論	母性看護学演習	

精神看護学実習				
家族と社会	臨床薬理学	診断・治療学Ⅰ	診断・治療学Ⅱ	診断・治療学Ⅲ
医療と法	生命倫理	社会保障論	臨床心理学	公衆衛生学
基礎看護学実習Ⅲ	医療安全論	看護倫理学	看護管理学	チーム医療論
公衆衛生看護学概論	精神看護学概論	精神看護学援助論	精神看護学演習	

地域・在宅看護学実習				
家族と社会	臨床薬理学	診断・治療学Ⅰ	診断・治療学Ⅱ	診断・治療学Ⅲ
医療と法	生命倫理	社会保障論	臨床心理学	公衆衛生学
基礎看護学実習Ⅲ	医療安全論	看護倫理学	看護管理学	チーム医療論
公衆衛生看護学概論	地域・在宅看護学援助論	地域・在宅看護学演習		

統合実習Ⅰ・Ⅱ				
成人看護学実習Ⅰ	成人看護学実習Ⅱ	老年看護学実習Ⅰ	老年看護学実習Ⅱ	小児看護学実習
母性看護学実習	精神看護学実習	地域・在宅看護学実習		

助産学実習				
成人看護学実習Ⅰ	成人看護学実習Ⅱ	老年看護学実習Ⅰ	老年看護学実習Ⅱ	小児看護学実習
母性看護学実習	精神看護学実習	地域・在宅看護学実習		
助産学概論	基礎助産学	健康教育技法	地域母子保健学	助産診断・技術学概論
助産診断・技術学Ⅰ	助産診断・技術学Ⅱ	助産診断・技術学演習	助産管理学	

